

【人口減少社会問題調査特別委員会】

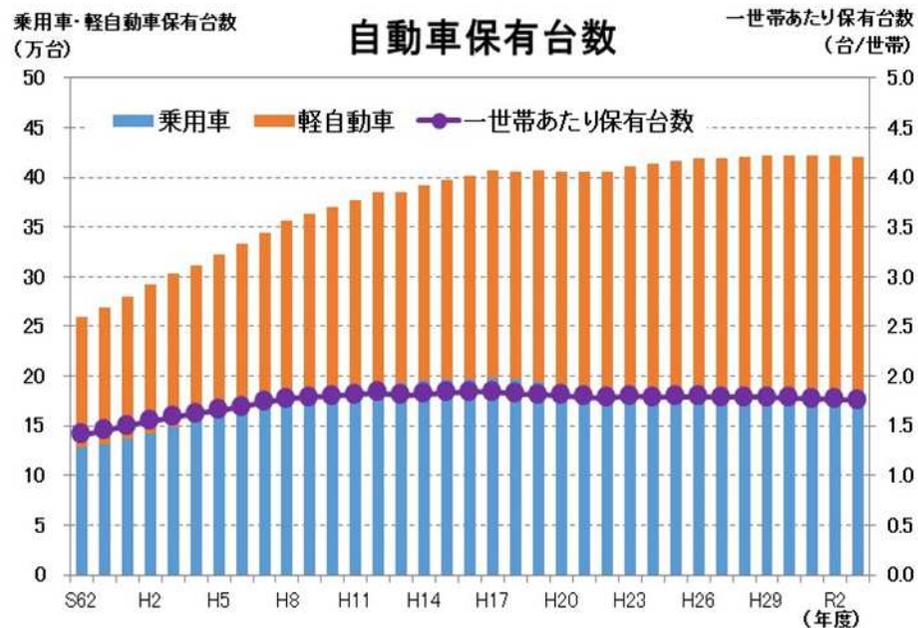
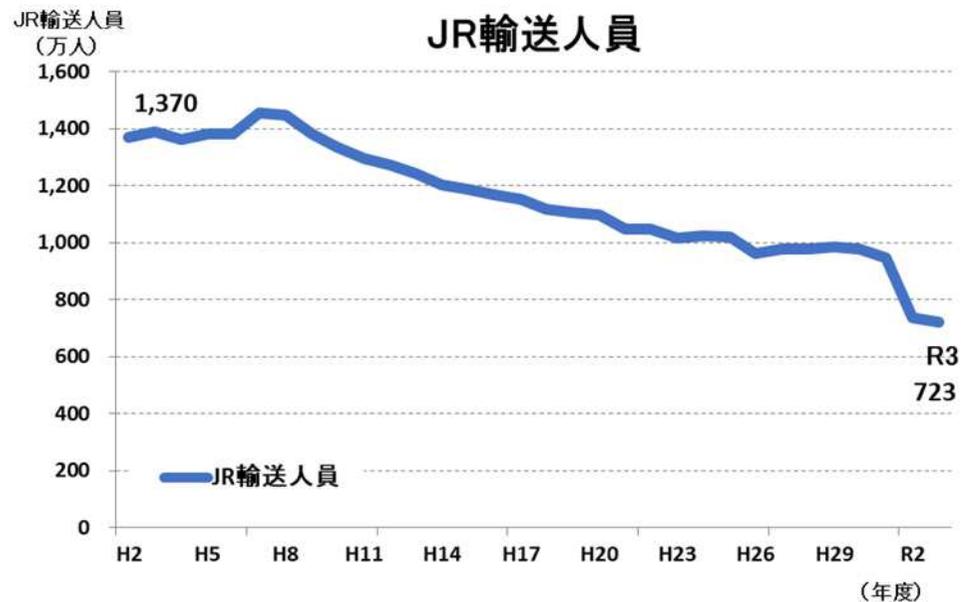
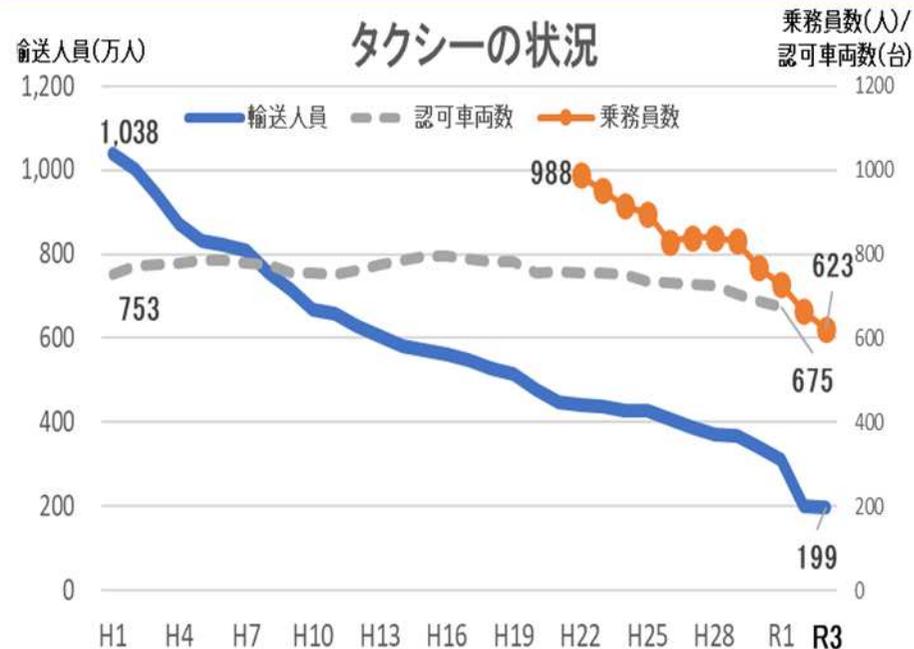
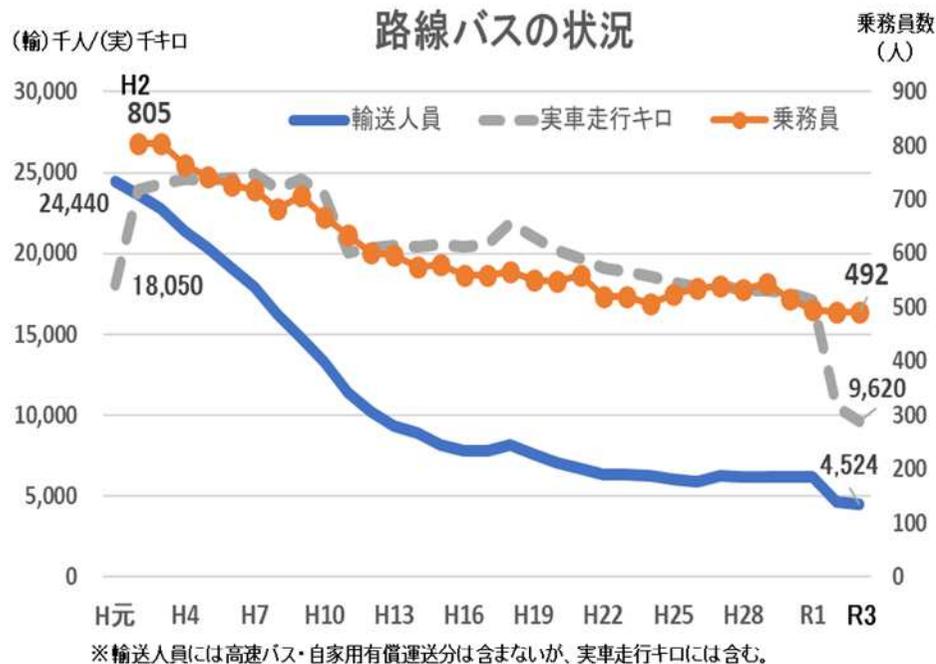
# 生活交通確保の現状と県の取組状況

---

令和5年10月12日(木)

鳥取県輝く鳥取創造本部中山間・地域振興局交通政策課

# 県内の交通の現状①



# 県内の交通の現状②

2023.8.24 日本海新聞

## 青谷町バス路線 本年度末で消滅

### 利用者低迷で廃止に

鳥取市の生活交通会議が23日、市役所で開かれ、同市青谷町を走るバス路線が本年度末で全て廃止されることが報告された。同町では日ノ丸自動車が2路線を運行していたが、利用者が少なく収支率が悪化していた。

廃止されるのは、同町を谷(こ)に南北に結ぶ日置線と勝部線の2路線。それぞれ平日1日8便運行している。ただ、小学生などが通学で利用する朝夕の時間帯以外は、ほとんど乗客がない状態となっている。費用に対する収入の割合を示す収支率は、両路線とも年々悪化しており、2022年度は勝部線で9・9%、日置線で18・4%だった。同社が市や地元と協議し、路線廃止を決定した。来年度、同町にはバス路線がなくなるため、市は、代替交通の確保について住民と協議している。市交通政策課は「生活に影響が及ばないよう、生活交通の確保に努める」と話した。

(中村美美子)

2023.4.1 日本海新聞

## つばめタクシー 自己破産申請へ

負債額2億円

老舗タクシー業者「つばめタクシー」(米子市西福原5丁目、船越守之社長)が事業停止し、自己破産申請の準備に入ったことが31

日、分かった。帝国データバンク鳥取支店によると、負債額は約2億円。

同社は1952年設立。運転代行業や観光タクシーなどにも業務を拡大し、96年1月期は約3億5100万円の売上高があった。しかし、近年は夜間タクシーや運転代行の需要減退、ドライバー不足などで不採算経営を余儀なくされ、2020年春以降は新型コロナウイルス感染拡大の影響で業績が悪化。22年1月期は売上高が約6千万円に落ち込んだ。さらに燃料高が追い打ちをかけ、27日に事業を停止した。(岡野耕次)

# 新たな地域交通体系鳥取モデル構築への支援

これまで

バス中心の  
交通体系

令和2年度から

市町村が地域のニーズに応じて  
**共助交通・タクシー・バスを  
自由に組合せ**できる支援制度を創設

- 補助対象：市町村、補助率：1/2

全国初！！  
全国知事会の優秀政策  
(住民・事業者視点の  
行政改革分野)  
で表彰！！

令和4年度までに、21件の再編事例を支援

- 小規模高齢化集落等に居住する75歳以上の高齢者、障がい者等に対するタクシー助成
- NPO等による交通空白地有償運送の運行支援や住民ドライバー活用
- 市町村のデマンドバスや貨客混載などの多角化等
- 運行経路最適化等のシステム導入等新たな仕組みづくり

例1



鳥取市佐治町で  
住民ドライバー  
が活躍中



例2



智頭町全域で  
AIオンデマンド  
タクシー  
(R5.4～)



例3



県内18市町村（智頭町  
除く）で高齢者等へのタ  
クシー利用助成を実施中

例4



貨客混載

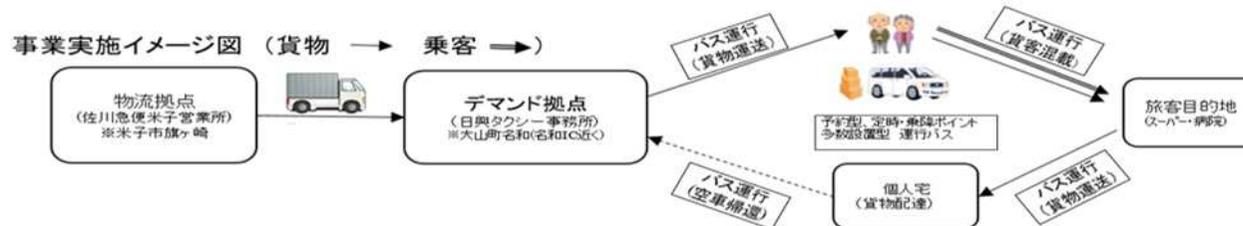
大山町で町営デマンド  
バスによる貨客混載を  
実施中 (R2.11～)

# 中山間地域における交通体系再構築の事例①

特に中山間地域において路線バスの縮小・タクシーの撤退などが発生し、住民の移動手段の確保に課題がでており、県内市町村では新たな交通体系の検討・導入を進めている。

## 【大山町】 町営デマンドバスによる宅配貨物の貨客混載

- 大山町ではH24.4に町営デマンドバスを導入。人口減少で利用者が減少する中、多角化で持続可能性を高めるため、佐川急便と連携して貨客混載運行を開始（R2.11実証運行を実施し、R3.4本格運行）
- 行政が運行する交通空白地有償運送で、個人宅まで配送する貨客混載は全国発!!
- 貨物配送（R4、2.2万個/年）で貨物収入は約450万円となり、旅客収入170万円の約2.6倍となっている。



## 【智頭町】 モニター付き端末で高齢者が使い易いAIオンデマンドタクシー（R5.4～）

- 町内タクシー営業所撤退に伴い、町営バスから住民ドライバーの自家用車による共助交通（交通空白地有償運送）に見直し  
⇒ R2から町内一部で実証運行を行い、R5.4～本格運行
- 防災情報等の告知に使われる各戸配備のモニター付き端末を活用した高齢者にも使い易いAIオンデマンドシステムを導入  
⇒ 役場への問い合わせボタンも設置。  
実際は高齢の利用者は、7、8割は電話予約
- 住民ドライバー19名、利用者は朝・夕を中心に1日100人以上



端末から乗降予約を行う  
ボタンが大きくて高齢者が操作しやすい端末

## 中山間地域における交通体系再構築の事例②

交通サービスのほかに、地域助け合い、施設管理、介護など事業を複合的に行うことにより、交通サービスの経営安定化や地域の活性化が図られるケースもある。

### 【鳥取市】 NPO法人さじ未来による事業の複合化

【運行主体】 特定非営利活動法人さじ未来

【運転手】 6名

【使用車両】 10人乗りバン2台

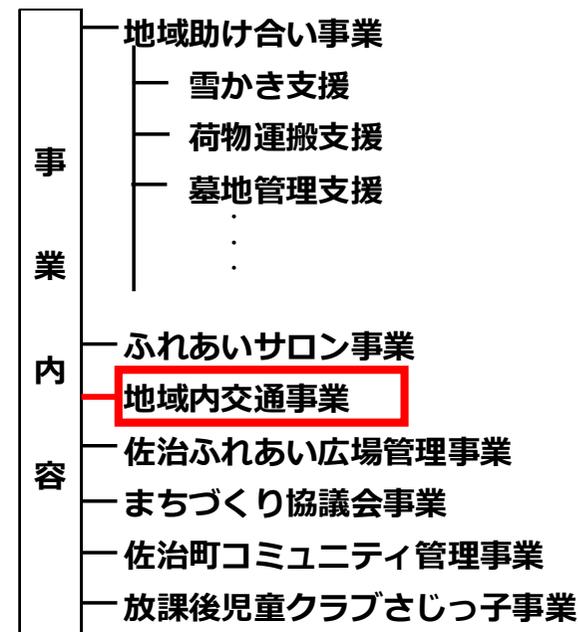
【運行開始】 R3.10.1～

【運行形態】 (火) (木) は定時運行  
(月) (水) (金) 及び土日祝日は予約運行

【運行範囲】 佐治町栃原（とちわら）～JR用瀬駅  
※定時運行の範囲は「市有償運送」「日ノ丸減便分」  
※予約運行の範囲は「佐治町一円及び用瀬駅周辺」

【運賃】 中学生以上200円、小学生・障がい者100円  
幼児無料

- 令和5年台風7号では、日ノ丸佐治線運休期間中、デマンド便を拡充し、地元小中学生の通学を支えたほか、買い物環境の確保にも寄与（トスク閉店に伴い、10月以降は当面の間1日1往復、Sスマート河原店まで延伸）



# まちづくりと連携した地域交通の活性化

沿線市町村、交通事業者が連携し、持続可能な公共交通の実現と地域の活性化を目指す。

## 東部地域交通まちづくり活性化会議

交通事業者トップと東部圏域の自治体首長で、県東部地域全体のまちづくりと連動した公共交通のあり方を協議

令和5年1月23日の会議で実行可能なものから速やかに実践を開始することを合意

### <合意事項>

- 観光列車を通じた交流人口の拡大・おもてなし
- 関西万博を見据えた観光MaaSの導入・観光商品造成
- 交通モード間で連携した地域MaaSの実証実験の検討
- 公共交通利用促進県民運動を展開
- キャッシュレス化の検討・推進

### 【交通事業者(出席者)】

西日本旅客鉄道株式会社 理事山陰支社長 佐伯 祥一  
智頭急行株式会社 代表取締役社長 城平 守朗  
若桜鉄道株式会社 代表取締役専務 矢部 雅彦(代理)  
日ノ丸自動車株式会社 代表取締役社長 中島 文明  
日本交通株式会社 代表取締役 澤 志郎  
鳥取県ハイヤータクシー協会 副会長 岡 周一(代理)

### 【自治体(出席者)】

鳥取市長 深澤 義彦(副会長)  
岩美町長 長戸 清  
智頭町長 金兒 英夫  
八頭町長 吉田 英人  
若桜町長 上川 元張  
鳥取県知事 平井 伸治(会長)



## JR西、19市町村、県の連携協定

鉄道ネットワークを活用したまちづくりに取り組み、地域のニーズに合致した利便性の高い持続可能な地域公共交通の実現と地域の活性化を目指し、連携協定を締結(R5.2.10)

### <連携事項>

- 観光列車を通じた観光振興及び交流人口の拡大  
⇒ 観光列車「あめつち」の因美線・山陰本線(鳥取～城崎温泉)への運行、国鉄色やくも号などバイバル運行
- 駅を核としたまちづくり  
⇒ 米子駅自由通路・周辺活性化、河崎口駅規制緩和、鳥取駅周辺リ・デザイン検討
- MaaS推進やキャッシュレス化をはじめとするDXの取組
- 鉄道と他の公共交通との共創及び他分野との共創の推進  
⇒ 鳥取駅南エリアでの共創プロジェクト(AIオンデマンド交通)実証運行

### 【協定締結式】

西日本旅客鉄道(株)  
理事山陰支社長 佐伯祥一  
鳥取県市長会会長 深澤 義彦  
(4市代表)  
鳥取県町村会会長 宮脇正道  
(15町村代表)  
鳥取県知事 平井伸治



# 駅を核としたまちづくり・交通と他分野との共創

## 【鳥取駅周辺】 とっとり共創型交通プロジェクト

国庫補助活用

- ・国の「共創モデル実証プロジェクト」を活用し次の事業を実施（事業費46,025千円、国2/3）
- ・交通を地域の暮らしと一体としてとらえ、複数の主体が連携して行うプロジェクト。  
ハイタク協会、日交、日ノ丸、Willer、丸由、徳吉薬局、智頭石油が参画

## 鳥取駅南エリアAIオンデマンドタクシー【とりmobi】

- AIオンデマンドシステムを実証実験を駅南地区で実施(2km×2km程度)
- システムはmobi（Willer社）。運行は地元タクシー事業者が実施。
- 商業や医療との連携
- カーシェアリングや路線バスとも、システム連携。
- 月定額を支払えば何度でも乗り放題になるサブスクリプションを導入（月額5,000円）※適宜支払いも可能
- 令和5年10月より運行開始。



※ 鳥取県東部地区全体の路線バスの定額バス電子チケットも併せて実施。（また、R5.8鳥取駅周辺リ・デザイン検討会も設置）

## 【米子駅周辺】 米子駅を中心とした新たな賑わい形成

- 米子駅南北自由通路の供用開始(R5.7)を契機に米子駅周辺一帯の賑わい形成を推進  
（R5.2.にJR西・米子商工会議所・米子市・鳥取県で連携協定を締結）
- また、米子市は駅周辺の宅地開発できるように規制緩和を実施  
（境線河崎口駅等）



# 鳥取型MaaS（地域MaaS・キャッシュレス）の推進

- ・官民連携で鳥取の地域特性あった鳥取型MaaSを推進するコンソーシアムを立ち上げ(R4.5.19)
- ・鉄道・バスの共通チケットやQRコードによるキャッシュレス決済などの実証実験を行っている。

## 【米子】 Y-MaaS・わいわいパス 西部圏域でのバス定額乗り放題電子チケット

- 西部圏域の路線バス（日ノ丸自動車、日本交通）、米子市営バス、安来市営バス（米子駅ー陰田間）が乗り放題となる電子チケット。

1月から！ バスが1日乗り放題の  
わいわいパスはアプリで購入！！  
米子市内 600円 広域 1000円<sup>※2</sup>

- ※1 平日はバスを降りるのが午前10時以降の場合使用可能です（土曜・日曜・祝日は、一日中使用できます）
- ※2 利用できる範囲はアプリ・HPでご確認ください



- **キャッシュレス決済かつ乗り放題**

※R3~4に実証し、R5.4~本格運用。

## 【若桜・八頭】 JR因美線・若桜鉄道（3セク）・日本交通若桜線（バス）共通パス

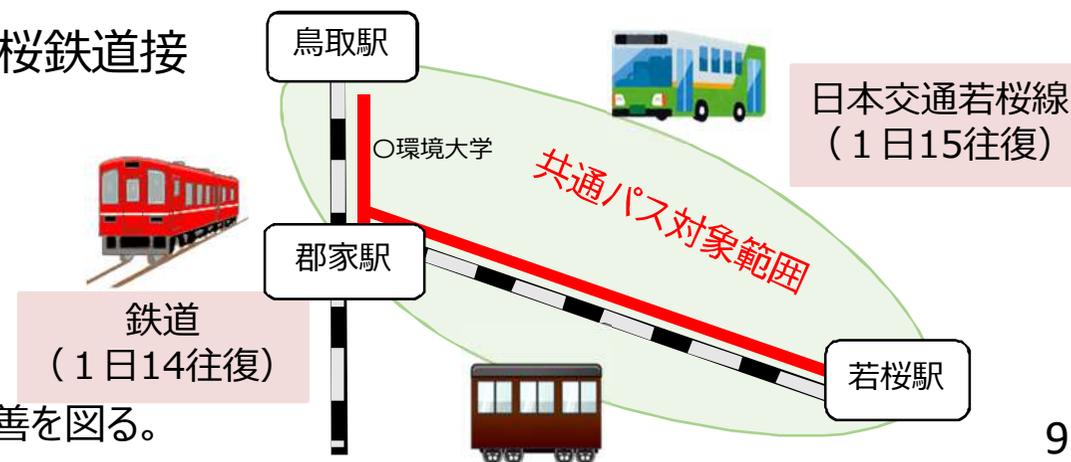
- 鳥取ー若桜間は、鉄道14往復（若桜鉄道接続便）、バス15往復。

→ **共通パス化で合計29往復**

- 電子チケット購入者数  
46名（モニター40名）

- 実証期間：R4.10.10~12.30

※今後、課題を洗い出し、サービス内容の改善を図る。



# 観光列車等を通じた交流人口拡大

## 観光列車の運行

関西万博を見据え、観光列車の運行を通じた交流人口の拡大による鉄道の需要拡大を図る。

⇒ **山陰本線（鳥取以東）や因美線で  
観光列車「あめつち」の特別運行を実施！**

※観光列車あめつちは、週末を中心に山陰本線（鳥取～出雲市）を運行中

<運行日>

山陰本線 [鳥取⇔城崎温泉] ※R5に初運行  
R5.7/15～17,22,23（5日間）  
（7/15は大雨のため、運転休止）

因美線 [鳥取⇔津山] ※R4に続き2年目  
R5.7/29,30,8/5,6（4日間）  
※津山駅で観光列車「saku美saku楽」（津山線）と接続し乗継乗車も可能とした。

⇒ **沿線自治体が連携しおもてなしを実施**



観光列車「あめつち」因美線  
初運行記念出発式（R4.7.31）

## リバイバル特急やくも号の運行

JR西日本では、特急「やくも」（381系）のリバイバル運行を順次開始！！

※特急やくもは登場から50年。

特急「やくも」（381系）は、国鉄時代に製造された車両が現役で定期運行している唯一の特急列車。

国鉄色やくも（R4.3～）



スーパーやくも(紫色)(R5.2～)



※写真はイメージ

緑色やくも（R5.11～予定）



鳥取県は、JR西日本と連携し、それぞれのリバイバル運行に合わせた

- ・記念セレモニー
- ・限定ノベルティ贈呈
- ・県内泊ツアー造成 などを実施。

# 第三セクター—鉄道の利用促進等

## 名探偵コナン×特急スーパーはくと特別列車運行プロジェクト



- スーパーはくと「名探偵コナン号」令和5年12月運行開始（予定）
- 令和7年、大阪・関西万博開幕。関西パビリオン「鳥取県ゾーン」で魅力を体感したら、コナン君とともに京阪神から鳥取へ直行
- 特定日の由良駅（愛称：コナン駅）への延伸を検討



©GA/S

### 【次の未来へ出発進行！】

- ・単なる移動手段ではなく、旅の思い出になる列車で世界から誘客！
- ・国庫補助金（観光・交通連携型）による伴走支援！
- ・「まんが王国とっとり2.0」地方でのクールジャパンによる訪日外国人観光客誘致のトップランナーをめざします！
- ・事業主体：智頭急行(株)

## 若桜鉄道（観光列車運行・上下分離）

- 若桜鉄道は、平成21年に上下分離方式による公有民営化を行い、地元2町(八頭町、若桜町)が鉄道施設を保有することで、経営改善を図っている。
- 近年は、若桜鉄道を核にしたまちの活性化と観光振興を促進している。

### 【観光列車の導入】

- ・JR九州の観光寝台列車「ななつ星in九州」等のデザインを手がけた工業デザイナー 水戸岡鋭治氏により設計

＜運行開始＞

「昭和」H30.3～、  
「八頭号」H31.3～、  
「若桜号」R2.3～

※ R4京都鉄道博物館に  
「隼ラッピング列車」を展示



若桜号

### 【行き違い施設の整備・若桜鉄道駅舎のレトロ化】

- ・若桜鉄道は単線で行き違いが出来なかったが、R2年3月に八東駅に行き違い施設が完成し、1日10往復から15往復（現在は14往復）に増便し、利便性が向上。
- ・また、国登録有形文化財に指定されている因幡船岡、隼、安部、八東、丹比、若桜の駅舎について、不要なものの撤去や色の統一によりレトロ化を実施。



レトロ化後の若桜駅 11

# ドライバー不足への対応

## 生産性向上等による経営力強化への支援

- ▶ 中小零細企業の多い県内タクシー事業者の生産性向上等による経営力強化・生産性向上を目的としたセミナー「**若手経営塾**」を実施（令和3年度～。鳥取商工会議所主催）



「若手経営塾」の様子

## ドライバー確保への支援

### ドライバーの二種免許取得費等の支援

- ▶ バス・タクシードライバーに必要な二種免許を取得する経費、新規採用や広報に係る経費等を支援

### バス運転手専門求人サイト「どらなび」と連携した求人活動

◇鳥取県求人特集ページ開設



どらなび鳥取県求人特集ページ

◇バス営業所見学会の開催



2023.9.2バス営業所見学会

◇「どらなびEXPO2023秋」出展



2023.9.30どらなびEXPO秋/関西